

キーウェアグループ サステナビリティレポート

SUSTAINABILITY REPORT 2026



 Paralym Art®
障がい者アートを応援しています

IT can create it.

キーウェアグループはICTを活用し、
お客さまの夢・理想の実現、持続可能な社会の実現を目指します。
安全・安心かつ安定した最適な製品・サービスを提供すること、
事業を通じてサステナブルな社会の実現を目指すことが当社の基本的な考え方です。

キーウェアグループの理念体系

パーパス

確かな技術と想像力で未来の扉をひらく

バリュー

未来の扉をひらく4つの鍵

Challenge

挑戦することは、成長と発展の鍵。
一歩踏み出そう、
新しい自分に出会うために。

Enjoy

楽しむことは、発想と創造の鍵。
心躍らせよう、
新たな価値を見つけるために。

Teamwork

チームワークは、笑顔と成功の鍵。
心をひとつにしよう、
大きな喜びを分かち合うために。

Integrity

誠実であることは、共感と信頼の鍵。
真っすぐに向き合おう、
強い絆をつくるために。

企業スローガン

IT can create it.

クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとします

目次

キーウェアグループの理念体系	01	取締役会の構成、重要リスクへの取組み	09
サステナビリティ基本方針	02	キーウェアのSDGs	10
トップメッセージ	03	環境編	11
部門長座談会	05	社会編	13
暮らしの中のキーウェア	07	マネジメント編	17

サステナビリティ基本方針

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客さま、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら持続可能な社会の実現を目指します。

キーウェアグループが取組む7つの重点領域

1 組織統治

我々は経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営の効率化・意思決定の迅速化を図りながら適切なコーポレート・ガバナンスの構築・維持に取り組めます。

2 人権の尊重

- 我々は、あらゆる企業活動の場面において、人々の人権を尊重し差別のない職場環境を目指すとともに強制労働を認めません。
- 従業員一人ひとりの個性や異なる発想・価値を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指します。

3 労働慣行

我々は、情報サービス産業の最大の経営資源は人材であることを認識し、人材の育成と高度化、適正な評価と魅力ある処遇、ワーク・ライフ・バランスなどを実現し、社員一人ひとりが将来を託し夢をかなえられる環境を目指します。

4 環境

我々は地球環境問題を社会の共通課題と捉え、環境負荷の低減を目指し、持続可能な社会の実現に寄与します。

5 公正な事業慣行

我々は、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進します。

6 消費者に関する課題

我々は、品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境についてのマネジメントシステムを運用し、安全・安心かつ安定した製品・サービスを提供します。

7 コミュニティへの参画及び発展

企業市民として社会と共生し、次世代人材の育成、地域社会・国際社会への協力、地球環境保護に寄与します。



トップメッセージ

創業から60年以上にわたり
培ってきた技術と、
次の時代を見据える想像力で、
未来につながる価値を
創造していきます。

キーウェアソリューションズ株式会社
代表取締役社長

三田 昌 幸

サステナビリティの方針と施策

キーウェアグループは、「創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献する」ことを目指しています。

当社は、デジタル分野のコンサルティングから、ITシステムの構築、導入、運用まで一連のライフサイクルを事業領域として、安全・安心、かつ安定した最適なソリューション（製品・サービス）を提供しています。事業を通じてお客さまや社会のニーズに応えること、経営の健全性と透明性を保ち、誠実な事業活動を推進していくこと、そして事業を通じてサステナブルな社会の実現を目指すことが当社の基本的な考え方です。

このような考え方を社員一人ひとりが正しく理解し

実践していくために、当社はサステナビリティ基本方針を策定しています。

組織体制では、社長を委員長とするサステナビリティ委員会を中心として、サステナビリティ基本方針に基づく具体的な目標を毎年設定し、実績を管理し、PDCAサイクルを回しています。例えば、人権に関する教育、セキュリティ事故の防止、環境パフォーマンスの向上、ワーク・ライフ・バランスの推進、社会貢献活動の推進等を行っています。

当社のお客さまは、官公庁をはじめ、運輸、通信、金融、医療、流通、製造など社会インフラを支える情報システムの構築に携わっており、システムの安全性や信頼性を確保することが社会的責任であると認識しています。そのため、システムの安全性や信頼性を確保する重要性をグループ全体で共有し、情報セキュリティやコンプライアンスに関する教育も行っています。

働きやすい環境の整備

Sierである当社にとって、最も重要な資産は「人」（社員）です。

社員の活躍を促進していくためには、社員の心身の健康と、公私ともに生活を充実させることも重要です。そのための職場環境づくりとして、当社は健康経営とワーク・ライフ・バランスの実現を推進し、育児、介護、看護など個々の家庭の事情にも対応できる柔軟で多様な働き方ができる制度を整備しています。

働きやすい職場環境を整備する施策として、2026年夏に本社を世田谷区から新宿区に移転いたします。

新たなオフィスでは、社員を1フロアに配置し、社員同士の対面でのコミュニケーションを促すことで、業務の効率化や生産性向上につながるアイデアや、イノベーションを生み出す発想が生まれる環境を整えます。

また、アクセス性に優れた都心への移転は、社員のエンゲージメント向上、優秀な人材の確保、営業力の強化といった効果も期待でき、お客さまやお取引先さまとのコミュニケーションと共創を図ることにもつながります。

育成の面では、社員それぞれが目指すキャリアの構築を支援することを目的とした企業内大学「キーウェアアカデミー」を実施しています。

様々な施策を通じて、これからも社員一人ひとりの成長を後押ししてまいります。

パーパスとバリューの浸透

2025年度に社員全員を対象として、パーパスと4つのバリューへの理解を深め、自分自身の業務や活

動内容をパーパスに落とし込むためのワークショップ「パーパスブートキャンプ」を実施しました。また、社長と社員がパーパスを軸に意見を交わし、相互理解を深めるとともに、日々の業務におけるバリューを確認する機会として「タウンホールミーティング」を実施しています。



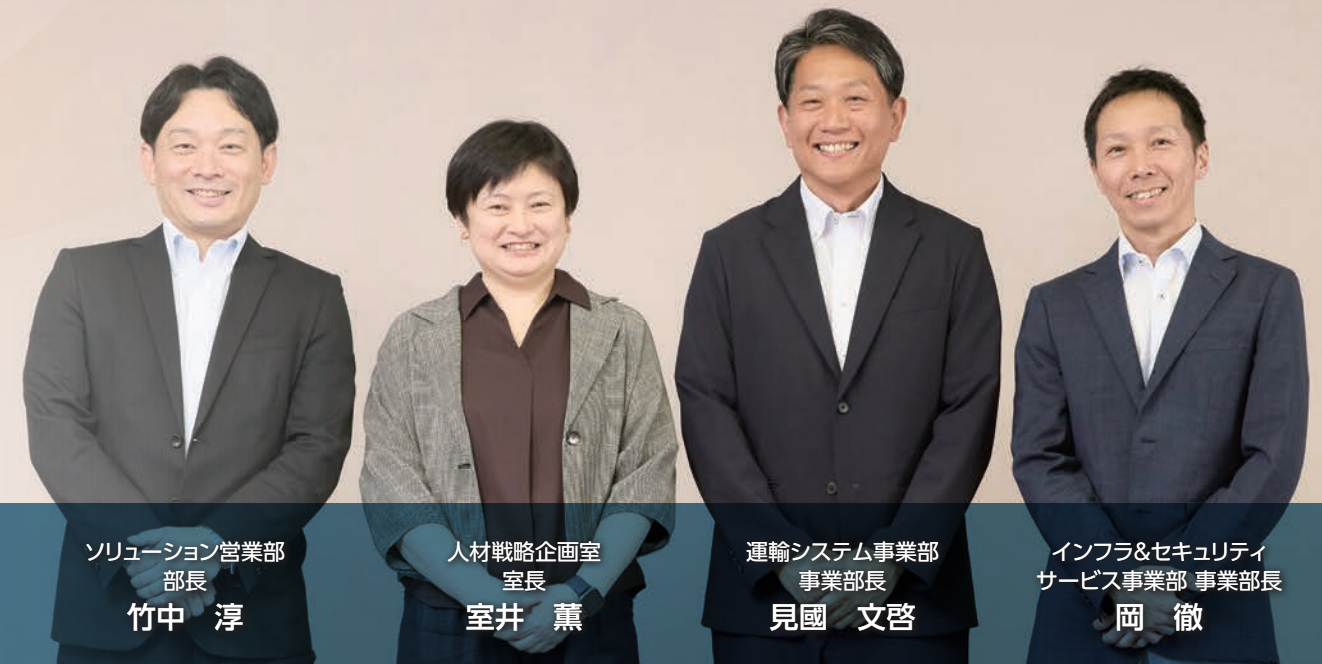
次の60年もサステナブルな成長を実現

今後は、パーパスを指針として、ITの持つ無限の可能性にチャレンジしながら新たな価値を創造し、広く社会に提供していきます。質の高いソリューション提供のみならず、お客さまに提供するまでの全過程においてコンプライアンスを徹底し、確実なプロジェクト管理を行うことを心がけ、常に最先端技術の探求と普及に取り組んでまいります。

今後も、ESG経営の推進を通じてステークホルダーの皆さまに信頼され、成長を期待される企業であり続けるために、社員の個性と能力を生かし、さらなる企業価値向上に努めてまいります。

パーパスとバリューの浸透

昨年制定したパーパス「確かな技術と想像力で未来の扉をひらく」と、
「Challenge」「Enjoy」「Teamwork」「Integrity」という4つのバリュー。
各部門でどのような浸透活動が行われ、実際に価値提供や働き方について、
どのような変化をもたらしたかについて座談会を実施しました。



ソリューション営業部
部長
竹中 淳

人材戦略企画室
室長
室井 薫

運輸システム事業部
事業部長
見國 文啓

インフラ&セキュリティ
サービス事業部 事業部長
岡 徹

Q1 まず、各部門でどのような浸透活動を行ったのでしょうか？

竹中 当部ではキックオフの場で各自の活動計画を発表する際に、パーパスや4つのバリューのうち何を自分が重視するかを考えてもらいました。営業活動の方針や意思決定に結びつけることで、自分事として捉えられるよう取り組みました。

見國 パーパスにある「確かな技術」を具体的にイメージできるよう、当事業部では技術知識と業務知識の両方を磨くことを具体的に伝えました。また、「Integrity」を従来の合言葉である“当たり前のことを当たり前にする”と再定義し、「Teamwork」「Enjoy」についても、世代を超えて本音で話し合える雰囲気づくりを意識的に行っています。「Challenge」については、取引先との新しい仕事やAI活用など、具体的な目標を掲げて取り組むように伝えました。

岡 社員がより自分事として感じ、解像度を上げてもらえるよう、当事業部のスローガンは4つのバリューに紐付いた内容としました。

室井 部内キックオフでは、人事部は社員の皆さんを支える存在であることを踏まえ、より良い環境づくりに向けてパーパス・バリューを意識し、自分たちにできることを考えて積極的に「Challenge」していこうと呼びかけました。また、「確かな技術」となる専門知識の習得にも主体的に取り組む姿勢を共有しました。

Q2 社員の反応はいかがでしたか？

室井 目指すべき方向性が明確になったことで、業務を見直す際の指針ができ、前向きに取り組めるようになったと感じていると思います。

竹中 当部でも「この案件はどのバリューにつながるのか」と考える意識が高まりました。新しい取り組みとしての「Challenge」や、顧客と事業部の連携強化を意識しての「Teamwork」が多いですね。

Q3 実際の業務や働き方にはどのような変化がありましたか？

岡 一般社員、リーダー、管理職がそれぞれの立場で、4つのバリューに紐付いた当事業部のスローガンを実現するために考え、行動してくれたことで、エンゲージメントスコアの向上にも良い影響を及ぼしています。

室井 採用基準や入社式、研修制度など、従来のやり方にとらわれずパーパス・バリューに沿って見直す動きが進んでいます。社員対応を担う労務チームでも、これまで以上に「Integrity」を意識した行動が自然と広がってきていると感じています。

見國 特に「Challenge」を意識したことで、現場から新しい提案や議論が自然と出るようになり、新たな取り組みが増えても負担が一部のみに偏りにくくな

っています。

Q4 パーパスとバリューについて、今後の展望を教えてください。

室井 パーパスとバリューをさらに浸透させるためには、発信し続けるだけでなく、社員が安心して挑戦でき、その行動がきちんと認められる環境づくりが重要だと考えています。新たに設置された人材戦略企画室では、人事制度や仕組みの見直しを通じて、パーパス・バリューに基づく行動が自然と根付く企業文化の醸成に貢献していきたいです。

岡 社員だけでなく、お客さまや取引先にも、パーパスとバリューを実践する企業として認めていただき、キーウェアグループ全体の価値向上につなげていきたいです。

竹中 お客さまのパーパスやバリューも理解し、自

社との共通点を踏まえながら提案活動につなげていきたいと考えています。

Q5 最後に、皆さんが感じるキーウェアグループでの働きがいについてお聞かせください。

見國 お客さまとの信頼関係の中で、若手からベテランまでがお互いを高め合える環境に働きがいを感じています。

室井 自分の成長を実感できることが重要だと考えています。社員一人ひとりが成長と充実感を覚えながら働ける環境づくりに取り組んでいきたいです。

岡 お客さまが真に必要な価値を提供し、お客さまの「当たり前」を「感動」に変える——これが、私たちの目指す姿であり働きがいです。

全社で進めたパーパスとバリューの浸透の歩み

- 2025年3月 ▶▶ パーパス・バリューの発表
- 2025年3月～4月 ▶▶ 社員へ説明、ポスター掲載
- 2025年9月～12月 ▶▶ 全社員に対してパーパスブートキャンプ（企業理念共有会）実施
- 2026年1月～ ▶▶ タウンホールミーティング実施中



暮らしの中のキーウェア

私たちは、情報システム・サービスを通じて豊かで便利な社会の発展を支えています。

01 宇宙で

衛星追跡管制・衛星機器の運用管制

地上側からの衛星運用に関わるソリューションを長年提供しています。例えば、GPS精度向上のための衛星機器を地上から運用・管制するソリューションを提供しています。

02 自宅で

ショッピングサイト、健康管理アプリ

商品販売サイトのシステム開発に携わっています。また、スマートフォンを活用して日々の体重や血圧等の数値データを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパスLifeRoute（ライフルート）」を提供しています。

03 農場で

農業ICT

ハウス栽培における環境や農作業の情報をセンサネットワークと連携したクラウドシステムでモニタリングすることにより、栽培技法の可視化や農作業の省力化を支援するサービスを提供しています。

04 病院で

電子カルテ、検査システム、栄養管理、リハビリ管理、チーム医療支援

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。

05 駅の改札で

駅改札におけるICカード利用など

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。

06 高速道路で

交通情報ソリューション

高速道路上の混雑状況や事故情報、車両制限令違反情報を蓄積し、そのデータを利活用するためのソリューションを提供しています。

07 放送局で

ニュースコンテンツ管理システム

放送番組のコンテンツ（記事、映像など）を取材から放送するまで管理するシステム構築に携わっています。

08 お店で

商社、卸売業、小売業向け在庫管理・入出庫管理システム

商社、卸売業、小売業向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。

09 企業で

製造・プロセス業／サービス業／商社の基幹系業務システム

製造・プロセス業、サービス業、商社の基幹系業務システムの導入提案から構築・運用に至る一貫したサービスを提供しています。

10 車で

モビリティソリューション

車から情報（ビッグデータ）を集めて分析し、サービス・製品の向上を行うシステムの構築に携わっています。

11 駅や電車で

交通広告ソリューション

駅や電車に設置された広告媒体について、空き状況の確認から申込、請求までを一元管理するシステムの導入及び保守・運用支援を行っています。

安全 安心 便利

18 製油所で

プラントの保安検査・安全管理

製油所などのプラントにおける保安検査の計画から報告書作成までを管理するシステムを提供し、エネルギーの安定供給と人々の安心な暮らしを支えています。

17 官公庁で

会社設立以来、官公庁における電子申請、審査支援、電子入札などの基幹業務に関するシステム構築に携わっています。

16 空港で

航空関連システム

航空分野で効率的かつ安全な航行を実現するために高い信頼性を必要とするシステムの構築に携わっています。

15 ホテルで

ホテルソリューション

ホテルの宿泊業務、宴会業務、購買業務などトータルソリューションを提供しています。

14 ネットワークで

携帯電話の基地局（アンテナ）監視制御システム

20年以上にわたり3G→4G→5Gと進化するキャリア通信方式に追従し携帯電話の基地局（アンテナ）監視制御システム開発・保守を行っています。

13 学校で

GIGAスクール

文部科学省が進める全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する取組みに参加し、学校へ端末等を導入しています。

12 オフィスで

経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

取締役会の構成

キーウェアグループでは、中長期的な企業価値向上に取り組んでおり、専門知識・経験・能力のバランスを考慮し、それらを備えた多様性のある取締役及び監査役を選任しています。これらの考え方に基づく、2026年6月25日現在の取締役・監査役については一覧表の通りです。

氏 名	属性				当社が特に期待するスキル								
	役 職	業務執行	社外役員	独立役員	企業経営	IT、技術開発	財務会計	経営企画 新規事業	営業 マーケティング	法務 ガバナンス	人事労務 人材開発	ESG サステナビリティ	多様性
三 田 昌 弘	代表取締役社長	●			●		●	●	●	●		●	
小 川 俊 一	取 締 役	●					●	●		●	●	●	
斉 藤 郁 夫	取 締 役	●				●						●	
末 綱 琢 也	取 締 役	●				●						●	
脇 谷 勝	取 締 役	●			●	●			●			●	
野田 万起子	取 締 役		●	●	●				●		●		●
ステファン グスタフソン	取 締 役		●	●	●		●						●
舘田 あゆみ	取 締 役		●			●					●		●
後 根 桂 二	監 査 役					●		●	●		●		
佐 藤 敦	監 査 役					●				●			
瀧 田 博	監 査 役		●	●						●			●
大 田 研 一	監 査 役		●	●	●		●	●					●

重要リスクへの取組み

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病及び会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより事業運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づいてリスク管理委員会を設置し、リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。体制についてはP18を参照ください。

リスクカテゴリー

事業環境リスク

災害リスク

事業・戦略リスク

財務リスク

労務リスク

法務・コンプライアンスリスク

過失リスク

故意・犯罪リスク

事故・故障リスク

また、サステナビリティに係るリスクに関しては、社長を委員長とするサステナビリティ委員会にてリスクの識別、優先的に対応すべきリスクの絞り込みを行い、具体的な計画・目標の策定、及び進捗状況の管理を行っています。

キーウェアのSDGs

キーウェアグループは、SDGsへの取組みを進めることで、持続可能な社会の実現を目指します。

医療ソリューション

医療ソリューションを提供することで、全ての人が健康でいきいきと生活ができる社会を目指します



目指すもの

- 全ての人々に、健康的な生活と福祉を届けられる、仕組みづくりに貢献します。
- どこでも誰でも、同じ医療を受けられる社会を目指します。
- 安心安全な医療が受けられる、まちづくりに貢献します。
- 技術革新に取組み、医療を通じた社会貢献を目指します。
- 当社・パートナー各社様双方で、持続的に成長できる企業を目指します。

基幹システム導入

システム導入を通じて、環境に配慮した生産的な活動を可能とし、ステークホルダーとともに持続的に成長できる社会を目指します

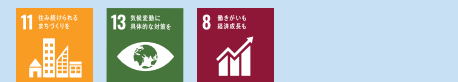


目指すもの

- 自然環境に与える影響を考慮した製造・流通を目指します。
- 企業活動における資源とエネルギー消費を削減するシステムの構築に努めます。
- ワーク・ライフ・バランスの実現に貢献します。
- 当社・パートナー各社様双方で持続的に成長できる企業を目指します。

技術革新

技術革新で未来を切り拓き、安全・安心な生活を実現し、住み続けられるまちづくりで、誰もが輝く社会を目指します



目指すもの

- 事故対策による安全性の向上、渋滞対策等による定時性の確保に貢献します。
- 災害・交通障害発生時における、地域社会のいち早い安全性の確保に貢献します。
- 高度・効率的な老朽化対策により、高速道路維持管理業務の発展に貢献します。
- 企業活動における資源とエネルギー消費を削減するシステムの構築に努めます。
- 仕事とプライベートの調和を促進し、生活の質向上に貢献します。

DX化推進

多岐にわたる業種・業態のお客さまのDX化を推進することにより、持続的で動きがいのある社会を目指します



目指すもの

- 産地と食卓をITの力でつなぎ、食料の安定供給に貢献します。
- イノベーションを通じて、経済の生産性向上に貢献します。
- 強靱なインフラ構築、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進に貢献します。
- 企業活動における資源とエネルギー消費を削減するシステムの構築に努めます。
- 当社・パートナー各社様双方で、持続的に成長できる企業を目指します。

私たちキーウェアグループは、日々の業務を行う中で、脱炭素社会の実現、働きがいのある会社を目指します

環境問題への取組み

脱炭素経営

環境パフォーマンス目標を管理することで、持続可能な社会の実現を目指す。



働きやすい職場環境の整備

女性活躍推進

女性職員比率、女性管理職数を増加させ、女性社員が活躍できる環境を整備する。



多様な人材の活躍

社員一人ひとりの個性や異なる発想・価値観を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮する企業を目指す。



ワーク・ライフ・バランス

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境を整備する。



環 境 編



キーウェアグループでは、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現のため、生物多様性の保全及び温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

環境目標

中長期目標

温室効果ガス排出量

2030年度まで

46%減少(2013年度比)



単年度目標

電力使用量

2025年度目標	2025年度実績	2026年度目標
2024年度実績と同等以下	2024年度比 3.1%減少	2025年度実績と同等以下



紙使用量

2024年度実績と同等以下	2024年度比 2.8%減少	2025年度実績と同等以下
---------------	-----------------------	---------------



廃棄物量

2024年度実績と同等以下	2024年度比 25.2%増加	2025年度実績と同等以下
---------------	------------------------	---------------



グリーン調達率

2024年度実績より同等以上	2024年度比 3ポイント減少	2025年度実績より同等以上
----------------	------------------------	----------------



環境パフォーマンス

CO₂排出量

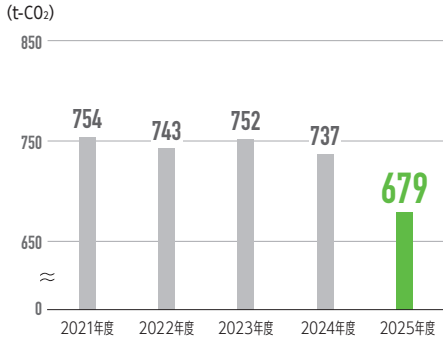


2013年度比

34.3%減

前年度比

7.9%減



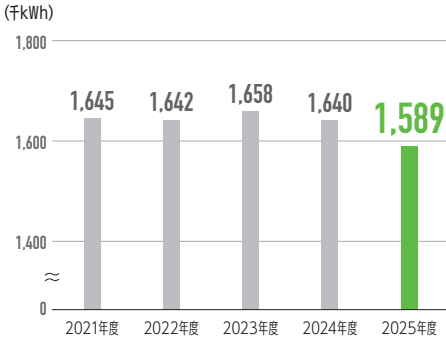
※電力使用量をCO₂換算しています。
※2023年度からキーウェア東北㈱が増えました。
※2025年度からキーウェア西日本㈱本社は再生可能エネルギー100%となったため集計から除いています。

電力使用量



前年度比

3.1%減



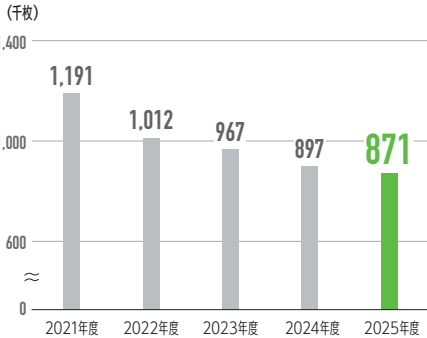
※2023年度からキーウェア東北㈱が増えました。
※2025年度からキーウェア西日本㈱本社は再生可能エネルギー100%となったため集計から除いています。

紙使用量



前年度比

2.8%減



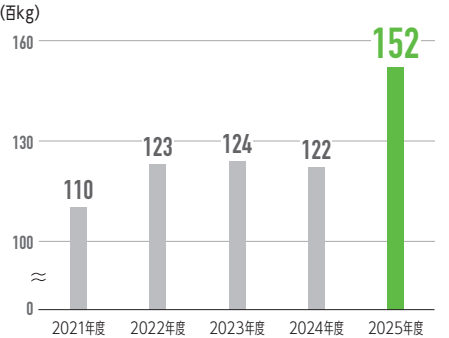
※2023年度からキーウェア東北㈱が増えました。

廃棄物量



前年度比

25.2%増



※2022年度は、出社人数増加に伴い、2020年度から実施しているコロナ対策による廃棄物が増加しました。
※2023年度は、出社人数増加に伴い、廃棄物が増加しました。
※2025年度は、組織改編や次年度のオフィス移転の準備に伴い、廃棄物が増加しました。

特筆すべき活動

環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客さまからの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わる全ての関係者に教育を実施しています。

- 全社員及び当社業務に関わるパートナー会社社員に対しe-Learningによる環境教育を実施。
- その他協力会社(廃棄物処理業者・清掃業者等)に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者及びプロジェクトへの新規参画協力会社社員に対する教育を随時実施。

保護(まもる)くんを活用したリサイクル活動

	2023年度	2024年度	2025年度
年間排出量	4,085kg	5,300kg	6,770kg
森林伐採抑制量	60本	79本	98本
CO ₂ 排出抑制量	1,756kg	2,279kg	2,829kg

保護(まもる)くんとは

株式会社日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

ECO事業所宣言

キーウェアグループでは、各自治体が実施しているエコ事業所に登録しています。

- キーウェア北海道株式会社
さっぽろエコメンバー レベル3
- キーウェア西日本株式会社本社
関西エコオフィス宣言登録事業所
- キーウェア西日本株式会社東海支店
名古屋市認定エコ事業所
- キーウェア九州株式会社
福岡県エコ事業所
- 株式会社クレヴァシステムズ
みなとエコ宣言

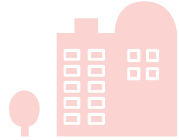
「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加

キーウェアグループは、「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加しました。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは、使い終わったガムテープやセロハンテープの巻芯を回収し、段ボールにリサイクルし、回収利益をマングローブの植樹活動に役立てるというものです。

資源の有効活用だけでなく、マングローブの植樹により、豊かな生態系の再生、地球温暖化の防止、周辺地域を台風や高潮被害等から守る等の環境保護にも貢献しています。



社 会 編



キーウェアグループは、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆さまとの関係を重視し、ともに成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客さまとともに

お客さま満足度 (CS) 向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客さまにご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

お客さま満足度 (CS) アンケート実施

キーウェアグループでは、お客さまに対して満足度調査のアンケートを実施し、自身の業務の改善やお客さまによりご満足いただくために結果を活用しています。

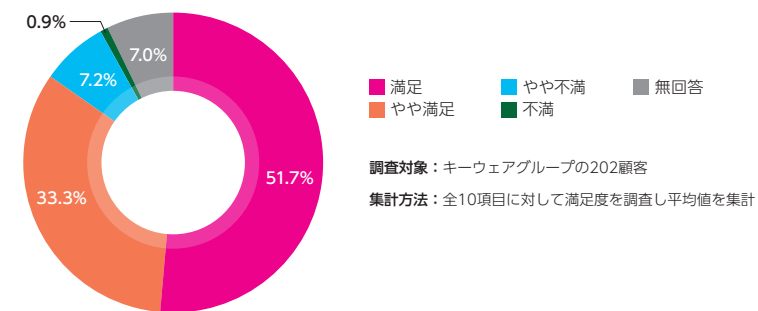
いただいたご意見／ご指摘につきましては、直ちに社内でも共有し、改善に取り組んでいます。

CS改善活動実施

よりお客さまにご満足いただくため、各部門にてアンケート結果の分析を行い、CS改善活動計画を策定し、改善活動を実施しています。

各部門での活動状況は、経営層を含め月次で確認し、改善活動を推進しています。

2025年度お客さま満足度 (CS) アンケート結果



株主・投資家の皆さまとともに

基本的な考え方

キーウェアソリューションズは、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまへ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアグループに対する理解を深めていただくとともに、皆さまの声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めていきます。

情報開示の基本方針

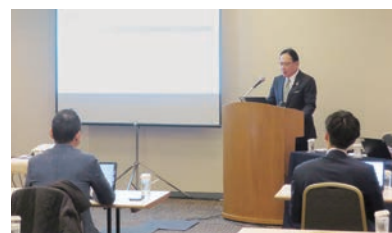
株主・投資家の皆さまに適宜、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「有価証券上場規程」で定められる情報及びそれらに準拠した情報並びにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアグループを理解していただくために有効な情報についても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション

株主・投資家の皆さま向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。多くの方々に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて決算情報、財務データをはじめ、キーウェアグループの強みや特徴などを日本語と英語で掲載しています。また、年2回、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、その様子を動画で配信しています。



株主通信「KEYWARE TIMES」



機関投資家向け決算説明会

●所有者別株式分布状況 (2026年3月31日現在)



地域社会とともに

PICK UP 60周年記念社会貢献活動「Present Tree in 能登金蔵」に植樹60本分の寄付を行いました

認定NPO法人環境リレーションズ研究所が実施している「Present Tree in 能登金蔵」に、創立60周年に合わせて植樹60本分を寄付いたしました。

能登金蔵(石川県輪島市町野町金蔵(かなくら)地区)は、周囲を山々に囲まれた小さな盆地で、美しい棚田と里山に代表される日本の原風景が継承されてきました。「美しい日本の歩きたくなるみち500選」や「[にほんの里100選]」、「生物多様性保全上重要な里地里山」などにも選定されています。

「Present Tree in 能登金蔵」では、美しい棚田と里山に代表される日本の原風景を維持し、そこに棲む生き物たちを守り続けるために、10年間、地元の人たちと交流しながらともに育てることで、金蔵地区に新しい交流人口を創り、地域に賑わいを取り戻し、奥能登の復興を進めていきます。

初年度の2025年は、植樹用の寄付を行いました。今後、植樹活動が実施された際には、キーウェアグループとして参加したいと考えています。

また、以前から実施している東北地方での植樹活動への参加も継続して実施しております。今後も、被災地の復興に役立つ活動を行っていきたくと考えています。



PICK UP 第14回NIPPON ITチャリティ駅伝に参加しました

NIPPON ITチャリティ駅伝は、IT業界のうつ病等で働けなくなってしまった人たちをひとりでも多く社会復帰させることを目的に2010年に企画されました。大会で得た収益は、運営費を差し引いた全額が就労支援を行っている団体や障がい者支援をされている団体、災害復興支援をされている団体に寄付されます。

回を追う毎に規模が大きくなり、14回目の今回は、参加チーム621組(3,105名のランナー)、300名を超えるボランティア・スタッフ、及び応援の方含めて5,000人以上の方が来場しました。また、スポンサー企業145社と過去最高だったそうです。

2025年11月16日(日)お台場シンボルプラムナード公園セントラル広場に駅伝コースを設置し、1名3km×5名のチームでたすきをつなぎました。

キーウェアグループは、今年初めて1チーム参加いたしました。

今後も参加したいと考えております。

インターンシップ・仕事体験の実施

学生の皆さまの職業観、職業意識の形成・向上を目的として、インターンシップや仕事体験を実施しています。

参加された学生(95名)には、お客さまの要望を実現するコンサルティングやプログラミング体験、クラウド利用で目覚ましい技術の進歩をみせるインフラ構築・セキュリティ体験などを通じて、システムエンジニアの仕事内容やIT業界で働くことへの理解を深めてもらいました。

■インターンシップ(2025年8月)

学校からの推薦者を対象とした5日間コースを1回、オフラインで実施

■仕事体験(2025年8月、9月、12月、2026年1月)

一般募集の学生を対象とした仕事体験の半日コースを16回、オンラインで実施

献血の実施

キーウェアソリューションズ本社地区では毎年6月と12月に献血車にきていただき、会社としての献血を実施しています。今後も年2回の献血を継続していきます。



清掃活動の実施

キーウェアソリューションズでは、月1回始業前に数十名で会社近辺の清掃活動を行っています。また、毎年秋には「八幡山全員清掃大作戦」と銘打ち数週間にわたり、200名を超える参加者により会社の近くにある甲州街道の落ち葉掃除を実施しています。

クレヴァシステムズでは、港区が主催している清掃活動に毎回参加しています。

キーウェア九州では、会社近辺の公園の清掃活動を実施しています。

キーウェア東北では、北上川の清掃活動に参加しています。

今後も継続して実施していきます。

社員とともに

PICK UP 女性活躍推進セミナーを開催しました

2026年2月26日に管理職を対象とした「女性活躍推進セミナー」を開催いたしました。
キーウェアソリューションズの部門長・部長職14名が参加し、「女性の昇格支援・活躍推進」をテーマに、女性のキャリア形成や昇格を支援するための考え方やスキルを学びました。
研修では、女性活躍推進の必要性やアンコンシャスバイアスの講義に加えケーススタディを用いたグループワークを行いました。
グループワークでは、上司ならではの悩みやそれぞれの価値観について活発な意見交換が行われ、自部門の育成方法との違いを理解し自身のマネジメントに活かす新たな気づきを得る貴重な機会となりました。
参加者からは、「誰もが働きやすい環境づくりの重要性を再認識した」「もっと女性が安心して活躍できる仕組みを会社としてつくっていく必要がある」といった声が寄せられました。
女性活躍推進は、女性だけの課題ではなく、組織全体の成長につながる重要なテーマです。
今後も多様な価値観を尊重し、組織全体の成長につながる取組みを推進してまいります。

PICK UP 「キーウェアアカデミー」を開設しました

社員一人ひとりの主体的な学びと成長を支援する取組みとして、企業内大学「キーウェアアカデミー」を開設しました。
キーウェアアカデミーでは、社員が将来のキャリアを見据え、自らの意思でカリキュラムを選択・受講できる仕組みを整えています。
初年度は、リーダーシップやマネジメントに関するカリキュラムを中心に実施し、コミュニケーションスキルやロジカルシンキング、業務管理・育成管理など、各等級で求められる知識や役割を体系的に学べる内容としました。
部署や職種を超えた交流の場として、参加者同士の横のつながりの強化にもなっています。
研修には全従業員約2割にあたる164人が参加しました。参加者からは「これまで気づけていなかった自身の課題や改善点を知ることができた」「将来必要となる視点やマネジメントの考え方を学ぶ貴重な機会となった」「受講を通じて視野が広がり、今後のキャリアを考えるきっかけになった」といった声が寄せられています。
2026年度からは、専門技術分野のコース拡充を予定しており、ヒューマンスキルだけではなく、IT技術者としてのスキル向上も目指してまいります。



健康管理とメンタルヘルスケア

キーウェアグループは、社員が心身ともに健康で、公私ともに充実した生活を送りながら能力を最大限発揮できる企業を目指し、2018年に「健康企業宣言」を行いました。

社員とその家族の健康を支えるため、2007年より外部カウンセラー相談窓口（EAPサービス）を導入し、2009年からは保健師による健康相談も行っています。また、グループ社員全員にストレスチェックを実施するなど、メンタルヘルス対策も積極的に展開しています。

職場環境の整備にも力を入れ、健康測定機器の設置や自動販売機のカロリー表添付などを実施。子宮頸がん・大腸がん検診やインフルエンザ予防接種の補助、社内での歯科検診、健康セミナーや情報提供など、多角的な健康支援策を推進した結果、「健康優良企業（銀の認定）」及び「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に7年連続で認定されました。

現在は、健保組合と連携しながら以下の対策に取り組んでいます。健康経営を通じて、社員がより良い環境で働けるよう、今後も積極的な施策を続けていきます。

- 社員の健康診断受診率100％
- 被扶養者（家族）の健康診断受診率の向上
- 生活習慣病等の重症化予防
- 生活習慣の改善意識・健康リテラシーの向上
- 女性特有の健康課題の認知度向上と改善施策
- メンタルヘルス対策の推進



子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得しています

当社は、厚生労働省の定める「次世代育成支援対策推進法」に基づいて策定した行動計画を達成した企業として、「次世代認定マーク（くるみん）」を取得しています。

今後も、全ての社員が生き生きと働く環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

「くるみん認定」とは

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業に対して、厚生労働大臣から「子育てサポート企業」として認定されるものです。



女性社員の活躍を推進するための取組み

女性社員が活躍できる環境をつくるため、5ヵ年計画を策定し、実行しています。

- 性別関係なく、上位の職位へのステップアップに挑戦できる環境の提供
- 長く活躍できるよう、育児・介護などの状況においても、働き続けられる環境の整備

	2024年度		2025年度	
	正規雇用労働者	パート・有期労働者	正規雇用労働者	パート・有期労働者
男性	79.0%	18.7%	78.3%	29.4%
女性	21.0%	81.3%	21.7%	70.6%

各年3月31日現在 キーウェアソリューションズ

	2025年度	2026年度
男性	13.32%	7.89%
女性	8.77%	8.47%

各年4月1日現在 キーウェアソリューションズ

全労働者	正規雇用労働者	パート・有期労働者
80.9%	81.3%	65.1%

2026年3月31日現在 キーウェアソリューションズ
男性の賃金を100とした場合の女性の賃金の割合

※男女の賃金格差につきましては、当社の賃金制度は年齢や性別に関係なく同一職務であれば同一賃金を支払うものとして設計されておりますが、現状においては男女間において賃金格差が生じております。これは、管理職に占める女性労働者の割合が低い水準にとどまっていることが主な要因であると考えております。今後は、上記の取組みをはじめとする適材適所の人材活用を推進してまいります。

	部長級（管理職）	課長級（管理職）	係長級（一般職）
男性	31名（1名）	96名（10名）	110名（8名）
女性	5名（1名）	8名（2名）	35名（4名）

2026年4月現在 キーウェアソリューションズ（ ）内は新任

多様な人材の活躍を支援するための取組み

キーウェアグループは、社員一人ひとりの個性や異なる発想・価値観を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指しています。多様な人材の活躍支援に向けて国籍や性別の区別なく採用活動を行っております。

新卒採用者	中途採用者	離職者
51名（19名）	4名（1名）	36名（13名）

2025年度 キーウェアソリューションズ（ ）内は女性

外国籍社員	障がい者雇用率
12名	3.17%

2026年3月末現在 キーウェアソリューションズ

労働安全衛生

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
業務災害	1件	2件	0件	1件
通勤災害	0件	2件	2件	4件

キーウェアグループ

ワーク・ライフ・バランス

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境を整備できるよう、3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の負荷軽減と休暇取得促進を図り、年次有給休暇の年間取得日数を前年度以上、月間平均残業時間を前年度以下にして「健康経営」「ワーク・ライフ・バランス」を実現します。

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
平均取得日数	13.4日	14.3日	14.4日	14.4日
平均取得率	67.3%	71.5%	72.2%	72.1%

キーウェアソリューションズ

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
キーウェアグループ	約22時間	約19時間	約18時間	約19時間

- 仕事と子育て・介護等の両立を支援・推進する諸制度（育児・介護休業制度、育児・介護時短制度、子の看護休暇、介護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセラー相談窓口など）の周知や情報提供を行います。子育てや介護等のための休暇や職務について、柔軟な対応が可能となるように制度の見直しを図ります。
なお、2025年度の男性の育児休業取得率（育児休業者のうち男性社員の割合）はグループ全体で84.6%、ソリューションズ単体で77.8%でした。

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
育児休業取得者	8名（1名）	23名（10名）	24名（5名）	27名（11名）
子の看護休暇利用者	25名（11名）	33名（20名）	34名（14名）	47名（23名）

キーウェアグループ（ ）内は男性社員

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
介護休業取得者	0名（0名）	1名（1名）	0名（0名）	0名（0名）
介護休暇利用者	17名（12名）	19名（14名）	17名（14名）	21名（14名）

キーウェアグループ（ ）内は男性社員

マネジメント編

キーウェアグループは、
経営の健全性・透明性を保ちながら、
継続的に企業価値を向上させていくために、
経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

キーウェアグループは、持続的に成長し、長期的に企業価値を向上させ、社会やステークホルダーの皆さまから信頼され成長を期待される企業となるためには、コーポレート・ガバナンスが極めて重要であることを認識しており、経営の健全性・透明性の確保、意思決定の迅速化、経営監督機能の充実化、ステークホルダーの皆さまとの適切な協働により、コーポレート・ガバナンスの充実を図っていきます。

経営監督機能と業務執行機能

キーウェアソリューションズにおけるコーポレート・ガバナンスの基本は、取締役の「経営監督機能」と執行役員の「業務執行機能」において責任と権限を明確化することです。

取締役会の透明性を担保するために、社外取締役を選任しています。取締役8名のうち3名は社外取締役であり、うち2名は独立社外取締役です。取締役の任期は、毎年度の経営責任を明確にするために1年としています。

業務執行機能を担う執行役員は、取締役会の決議により任命され、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあたっています。執行役員は10名で、その任期は1年です。なお、取締役5名が執行役員を兼任していますが、当該兼任者の執行役員としての経験や知識は、取締役としての経営監督機能を高めるものと考えています。

コンプライアンス

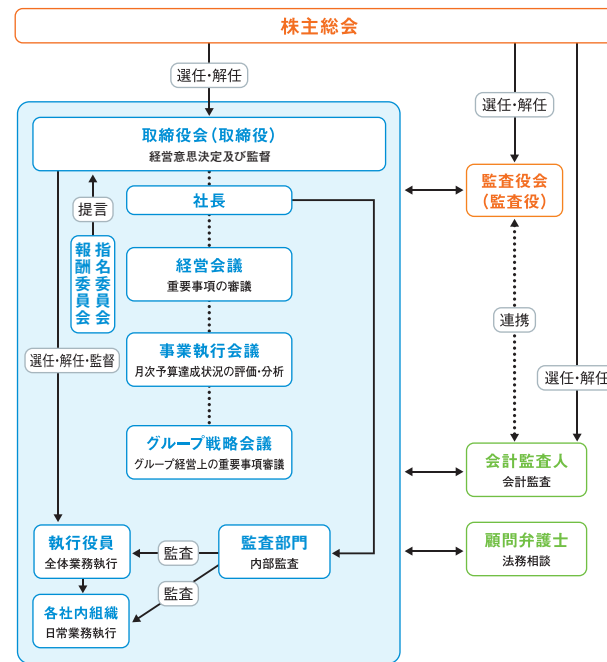
基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役員及び全社員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理部においてコンプライアンスへの取組みを横断的に統括することとし、同部を中心に教育等を実施しています。

監査体制

監査役及び監査役会による経営監視体制を構築しています。監査役4名のうち2名は独立社外監査役です。監査役の任期は、監査の独立性を確保してその地位を堅固なものにする必要があることから、4年としています。

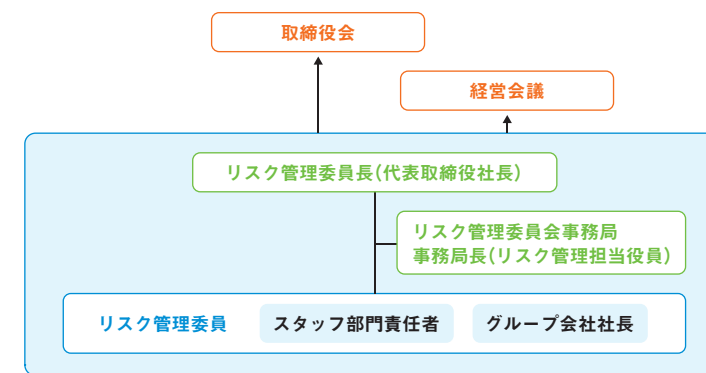


コーポレート・ガバナンス体制(概略)

リスクマネジメント

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病及び会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより事業運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づいてリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

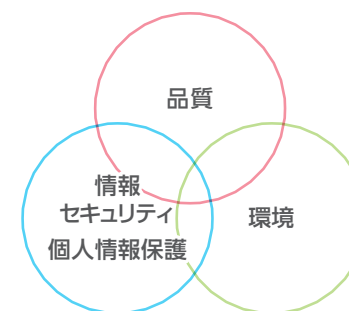


方災訓練

統合マネジメントシステム (品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境)

基本的な考え方

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム (QMS)、環境マネジメントシステム (EMS)、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)、及び個人情報保護マネジメントシステム (PMS) を統合したマネジメントシステム「iSMASH」を運用しています。



※iSMASH:
integrated Synthetic Management
System of Quality Assurance
for a Software House



※統合マネジメントシステムは、株式会社オーガルを除くキーウェアグループで運用しています。QMS / EMS / ISMSの認証範囲も同様です。

品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム(QMS)の国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステムの運用だけでなくとどまらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステムをブラッシュアップする活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアグループでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理を徹底しています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、役員及び全社員並びに当社業務に関わるパートナー会社社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上を図っています。



個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分に配慮し、個人情報保護に努めています。また、キーウェア九州、キーウェアメディカル及びオーガルを除く各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

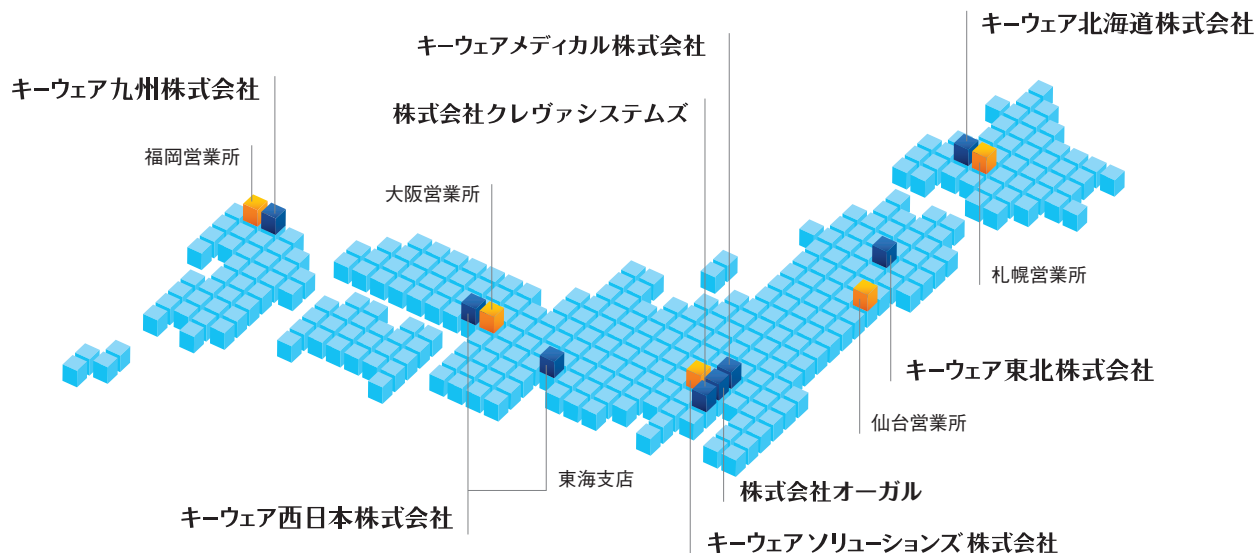
環境

詳細は、環境編に記載しています。

■会社概要

会社名 キーウェアソリューションズ株式会社
創立 1965年5月
資本金 17億37百万円
売上高 227億24百万円 (2026年3月期・連結)
従業員数 1,300名 (2026年3月31日現在・連結)
上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード: 3799)

キーウェアグループ会社
キーウェア北海道株式会社
キーウェア東北株式会社
キーウェア西日本株式会社
キーウェア九州株式会社
キーウェアメディカル株式会社
株式会社クレヴァシステムズ
株式会社オーガル



■編集方針

「キーウェアグループ サステナビリティレポート2026」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのサステナブルな取り組みの内容と結果について、ステークホルダーの皆さまに、適切にわかりやすくご報告することを目的として「サステナビリティレポート」という形でご報告しています。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にサステナブルな取り組みを行ってまいります。本レポートをお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後の取り組みの参考とさせていただきます。

■ホームページ

キーウェアグループのサステナビリティの取り組みにつきましては、ホームページでもご覧いただけます。
<https://www.keyware.co.jp/about/csr/index.html>



■報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています。

■報告対象期間

2025年度 (2025年4月1日～2026年3月31日)
※一部に2026年度の活動も含んでおります。

■発行年月

2026年8月

■表紙について



当社グループは、障がいのあるアーティストの社会参加と経済的自立に取組む「パラリンアート」に協賛し、オフィシャルパートナーとしてアーティストを応援しています。

作品名
未来をひらくカギ
作家名
KOTO

 Paralym Art®
障がい者アートを応援しています

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒160-8422 東京都新宿区新宿6-27-30 (新宿イーストサイドスクエア)
経営管理部 サステナビリティ推進室
TEL 03-3290-1111
<https://www.keyware.co.jp/>



※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本誌は、FSC® 森林認証紙と、植物性インキを使用しています。
本誌は、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。